

編集後記

女性が起業する。

現在「男女共同参画社会」や「働き方改革」「ワークライフバランス」など、女性の社会活躍を推進する考え方が打ち出されていますが、ほんの少し時代を遡ると、そこには、未来につなげようと勇気を出して行動してきた多くの先輩方がいます。今回ご紹介した5名の起業女性もまた、自身の人生感を大切にしながら、しなやかに優しさと情熱を持って、人生を切り拓いている素敵な方々でした。

自分で何かはじめるということは、自分の決断や行動に責任を持つ、ということ。その自責の扉の先には、自分や周囲を受け入れ、様々な壁を自分らしく乗り越えていくたくましさとともに、支えてもらう感謝や喜んでもらえる嬉しさもまた、とても大きな感動となって返ってくると話してくれました。

みなさんの「やってみたい」を沼津市も応援します。

ここ沼津で、みなさんの夢の花を咲かせてみませんか。

取材・編集

NPO法人 Woman'sサポート
womanssp@yahoo.co.jp
<http://www.womanss.numazu-cci.or.jp/>

発行

沼津市産業振興部商工振興課
Tel.055-934-4799
syouko@city.numazu.lg.jp

沼津市 起業

検索



ヌマヅの起業woman. MY LIFE, MY WORK.

結婚、出産、子育て。

様々なライフステージを迎えながら、自分らしい生き方を実践する

たくましくも温かな起業女性たち。

悩んだ分だけ喜びも大きい。苦労があるからこそ優しくなる。

何より、自分で切り拓くおもしろさを知っている彼女たちの

LIFE STORY in NUMAZU をご紹介します。

NO.1

株式会社tasuki
代表取締役
杉浦 希未子さん



これは私のライフワーク ママが幸せになれば世界は平和になると信じている

沼津市民文化センターから歩いて5分の住宅街に建つ一軒家。ここは産前産後のママたちが集うマミングサロン《yadorigi(ヤドリギ)》。室内には柔らかな光が差し込み、やさしい音楽が流れる。yadorigiオリジナルのハーブティーを飲んでいると、気持ちが静かに整ってくるのを感じる。マミングとは造語で、妊娠した女性(mom)が、おなかの子と共に成長し母親になっていく(becoming) 妊娠初期～産後1年の時期を指す。yadorigiでは各種講座やカフェの営業などを行っている。また2019年からはマミング期のママ対象の会員制サービスやフリーペーパーの発行も開始する予定。

置いてきぼりをつくらず 世界中の子が幸せになるために働く

「孤独で子育てはできない。」そんな想いから、代表取締役社長の杉浦さんが、会社の前身となる子育てサークルを立ち上げたのは2011年。沼津での子育てに特化したフリーペーパー《tasuki》は、手のひらサイズの季刊誌として、ママたちの子育てに寄り添った。tasuki=襷。子育てを襷を繋ぐ駅伝のように捉え、子育て世代と共にありたいという願いを込めた。学生時代を陸上に捧げた彼女らしい発想だ。やがてサークル活動をよりよいものにする方法を模索する中で出会ったのが、沼津市主催のリノベーションまちづくりだった。仲間と沼津市の未来について寝ずに考えた時間は、今でも彼女の中核を支える軸になっている。

「ほしい暮らしは自分でつくる」という言葉が 胸に刺さった

ないものを嘆くのではなく、理想の暮らしを自らつくることを選び、株式会社を設立。遊休不動産をリノベーションして開業した。しかし実際に起業してみると、その責任の重みが精神的なプレッシャーとなり、食事も眠ることもままならない日々が続いた。そんな自分の弱さに、さらに落ち込んだりもした。

それでも「杉浦さんと出会って自分の人生観が変わった。」「女性はもっと自由に生きていいんだという勇気もらった。」そんな風に声をかけてくれるママ達の言葉に支えられ、彼女は前を向き続ける。「起業してよかったかどうか、その答えが出るのはもう少し先。今は会社の収益を増やして今後の展開につなげたい。」マミング期を明るくすることで幸せな子が増え、その子達が活躍する平和な未来がつけられる。yadorigiの事業を通じて沼津から世界へ、希望の枝葉を広げていきたい。

彼女のルール

3児のママとしての自分も大切に。
でも仕事にも絶対妥協はしたくない。



INFORMATION

株式会社tasuki (タスキ)

TEL 080-1442-2350 沼津市本郷町13-16
営業時間 10:00~15:00 定休日 土曜、日曜日、祝日
E-mail info@tasukito88.com
URL http://tasukito88.com
事業内容/母子の産前・産後支援事業
妊産婦向けデイサービス事業

NO.2

さき亭
露木 さき代さん



人が好きで料理が好き これまで経験したことの全てがここにつながっていた

「ただいま。」
そう言いながら暖簾をくぐるお客様たちを、優しい笑顔で迎える着物姿の女性。和風で落ち着いた佇まいの店内。一枚板のカウンターには重厚感があり、ゆったり座れるテーブル席もまたいい。手づくりだという和柄の布小物が雰囲気彩りを添える。「お客様には、家に帰ってきたようなあたたかさの中でくつろいでほしい。」そう話すのはオーナーの露木さき代さん。居酒屋の【イザ】とスナックの【ツク】を足して「イザツク」。彼女が経営する《さき亭》は、2つのちょうど中間くらいの存在だと説明してくれた。からあげ グラタン むかづき
露木さんがおすすめとして挙げてくれたメニューは、どれも家庭料理の定番。シングルマザーとして、働きながら沼津市で2人の子供を育ててきた。これまでの職歴は、大手クッキングスクールの講師、飲食店の接客、営業職など多岐に渡る。ワーキングマザーではあったけれど、家庭での食事も栄養バランスを考えていねいにつくり続けた。やがて子供達が成長しお弁当をつくる必要がなくなった時には、なんとも言えない寂しさを感じた。2人共が成人したタイミングの2018年5月《さき亭》を開業。地元である沼津にお店を持つことは、露木さんが20代前半から抱いていた夢だった。



料理が、人が、そして沼津が好き 今日は何をつくらうかなと考えること自体が、幸せ
さき亭を始めて、誰かのために料理をつくる喜びを再び味わっている。実際に店を運営してみて、仕込み、接客、片付けなど、自分でやらなければいけないことの多さに驚いた。睡眠時間は以前に比べて確実に減ったし体力的にきついと思うことも正直あるけれど、それを苦だと思ったことは一度もない。お品書きは、食材などを見ながら毎日手書きでしたためる。

「今が、いちばんたのしい」 一点の曇りもなく彼女は言う

なじみのお客様からは、店名をもじって「さきてい」と呼ばれることもある露木さん。そう、この店は《彼女自身》なのだ。「楽しいと思っている自分でいたい。好きなことをしてキラキラした自分でいたい。」そんな彼女のポジティブさに人は惹きつけられ、また会いに行きたくなる。潔くて菌切れの良い話し方。そして、そこはかとなく優しい。店に流れる和やかな空気も手伝って、居合わせたお客様同士の自然な会話が生まれ、ご縁がつながることも珍しくないというもうなずける。

彼女のルール

料理には惜しみなく真心を込める。
でもこだわりすぎないのがミソ。



INFORMATION

さき亭

TEL 080-2637-8310 沼津市高沢町11-15
営業時間 19:00~24:00 定休日 月曜日、隔週火曜日
URL FBで「さき亭」と検索
事業内容/まごころご飯の居酒屋



NO.3
Oriental Beauty
KIRARA
川口 清美さん

お客様が理想に近づき更に美しくなって、 思考が変わり笑顔が増えていくことが私の喜び

もともと大手エステティックサロンでエステティシャンとして働いていた川口さん。結婚を機に退職し、1男1女を出産後、美容業界とは全く違う業種でパート従業員として働いていた。週5日9時から15時までという勤務スタイルは、家庭重視の生活の中では当然と思える働き方だった。

天職は、エステティシャンと信じ続けていた

家庭の主婦として日々を過ごしながらも、エステティシャンとしていつかは独立開業したいと思いつけていた。そして第1子出産直前にアロマの資格を取得。エステティシャンの基礎を学びなおすため、育児の合間に専門学校に通った。そうして2013年3月に沼津市内の自宅一室を利用して《Oriental Beauty KIRARA》を開業。しかしはじめはお客様が全然来なかった。それでも焦らず、チラシのポスティングやネット広告、SNSでの告知など思いつくことはなんでもやった。そういった努力が功を奏したのか、徐々に口コミなどで集客も安定。事業が軌道に乗ってきた2016年、沼津市五月町の現店舗に移転した。完全プライベートでゆったりできる空間と、川口さんの確かな技術に惹かれ毎週通うお客様もいるという。沼津で商売をするのは難しいのでは?という人もいるが、「本当によいものを提供すれば、人は来てくれるはず」と川口さんは言う。

お客様の望む結果を出せなければ 意味がない

カウンセリングから施術までを自ら担当する川口さん。とことんお客様のニーズを聞き取り、ボディ、フェイシャル、カッピングなど多様なメニューの中から、そのお客様に最適なコースを一緒に選ぶ。美しさは身体を温めることからという信念から、フェイシャル(顔)のトリートメントでもアロマフットバス(足)からスタートする。細胞レベルで美を目指す水素吸入の魅力をていねいに説明し、興味があれば下着のアドバイス、フィッティングもする。

それら全ては、「お客様の欲しい結果により近づけるため」。

選び取るのはあくまでお客様だけれど、その方が良い方向に向かって変わっていくのを、間近で見られることが何より嬉しい。一人ではなかなか難しい減量や美への目標達成も、励ましてくれる存在があればこそがんばれるのだ。今後はスタッフを入れてさらに事業を拡大していきたいと話す川口さん。これからも女性の美の伴走者として走り続けることだろう。

彼女のルール

バランスの良い食事とストレッチと
ウォーキングで自身のカラダも整える。



INFORMATION

Oriental Beauty KIRARA
(オリエンタルビューティーキララ)

TEL 090-8954-0727 沼津市五月町2-16
営業時間 9:00~20:00 定休日 日曜日・祝日
URL <http://www.ob-kirara.com>
事業内容/エステサロン

NO.4
MATAHARI
窪田 真菜さん



ゆっくりと果汁を絞るように ていねいに、誠実に

その店の名前は《MATAHARI》。インドネシア語で「太陽」を意味する。バリ島の力強い太陽のように生命力のある場所になるようにと、店主の窪田さんが命名した。MATAHARIで提供されるのはフレッシュジュースやコールドプレスジュース、ロースイーツなど。地元の野菜や新鮮卵、ヨガマットやウエア、バリ島で仕入れた雑貨もある。再利用可能なビーズラップやステンレスストローなども扱う。一見多種多様に見える商品を選ぶとき、窪田さんの中にはひとつのルールがある。

自然に優しいもの、身体に優しいもの、 地元のもの、 シンプルだけれど《いいもの》を売るといふこと

その発想の根源には、幼かった頃に母が自分にくれたことへの感謝がある。添加物など《異物》に敏感に反応し、良いと信じるものを取り入れてくれた母。家族のために選び取られたものの手触り、肌ざわりの記憶から学ぶことが今でもたくさんあるという。

窪田さんがMATAHARIの開業を目指し物件を探している時、今の店舗が目にとまった。内覧をするために勢い良くシャッターを開けると、店内に光が一気に入ってとても気持ちよくなった。すぐに借りることを決断し、そこからは夫と2人でリノベーションした。

いざ開業したものの、オープンしたての頃はターゲットと想定



していた同世代の女性たちがあまり来なかった。自身の設定した価格を不安に思うこともあったけれど、原価や生産者のことを考えると闇雲に安くするわけにはいかなかった。新しいものに対して保守的とも感じられる沼津の人は、《ふらりと入る》のハードルが高い分、よい緊張感をくれるという。

《おまち》に行くワクワク感を ここでまた味わいたい

今ではリピーターやヘビーユーザーも増え、地元のフェスに誘われて出店したり、誕生日やパーティー用のローケーキのオーダーを受けることも多い。そんな窪田さんの心には、自身が高校生だった頃の「おまち」の風景が鮮明に残る。沼津のおしゃれな洋服屋に、買い物に行くために着る洋服がほしいと思っていた高校時代。そんな特別なワクワク感を、この街でまた味わいたい。お客様の身体と心のデトックスが出来たと感じる時、起業して良かったと心から思う。沼津は田舎であると同時に都会も近い、とてもバランスの良い街。特産物が多いのでそれを店で活かせることも嬉しい。

彼女のルール

気を意識する。気を込めて作る、
気の流れが良い空間を提供する。



INFORMATION

MATAHARI
(マタハリ)

TEL 055-952-3695 沼津市三芳町1-28
営業時間 11:00~19:00/日曜のみ 11:00~18:00
定休日 月曜日、火曜日
Instagram [matahari_freshjuice](https://www.instagram.com/matahari_freshjuice)
事業内容/スムージー、コールドプレスジュース、ロースイーツ販売



NO.5
Caricia Neo
狩野 順子さん

運動とアロマの双方向から 更年期世代のリスタートを応援したい

狩野さんはずっと身体と向き合ってきた。中高生の頃は新体操に夢中だった。高校卒業後、一旦は地元企業の営業事務職に就いたが、やはり身体を動かす仕事をしたという思いから、1年後に退職。エアロビクスインストラクターとして再就職した。働きながら各種インストラクター養成講座を受けると同時にレッスンの経験も重ね、インストラクターとしてのキャリアは今年で実に29年目。子どもや高齢者の健康づくりへの思いも強く、子どものフィットネスにも21年にわたり携わってきた。

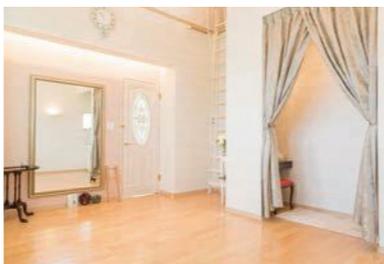
運動だけでは回復できない《心の重み》へのアプローチとして香りの奥深さに興味をもつ運動指導者としての経験が10年を越えた頃、狩野さんに転機が訪れる。(株)エスパルスが管理するトレーニングセンターにスタジオチーフとして入社し、スタジオ運営の全般に神経を巡らせることが狩野さんの仕事になった。その頃、頻繁に耳にする利用者の声に気づかされたことがある。それは不調は身体のみからくるのではないということ。もともと香りの力に興味をもっていたこともあり、アロマ空間デザイナー、アロマセラピストなど数々の資格を取得。アロマを学ぶ中で知った「調香師」という存在が、その後の人生を変えていく。2012年前職を退き、フィットネストレーナー兼アロマセラピストとして《Caricia Neo》を開業。その頃にはフィジカルだけでも香りだけでもない、双方向からのアプローチが狩野さんの強みとなっていた。

パートナーと出会い、1年後に結婚式を挙げた運命が動く時、サロンの方向性も固まった。それから5年後の2017年、狩野さんは人生のパートナーとの新居にてサロンをリニューアルオープンした。コンセプトは《Aromaメノサイズ®》。アロマセラピー+適度な運動で更年期(メノポーズ)を楽に過ごすというアプローチだ。これはまさに狩野さんにしか成し得ないコンビネーションで、商標

登録も承認されている。サロンでは、からだパー®やトランポリンなども使い更年期世代を楽に過ごす方法の提案をしている。「黄瀬川沿いの気の流れの良いところを選んだ」という狩野さん。天井が高く高級ホテルのようなしつらえのゆったりとしたサロンは、訪れるものの気分を自然と高めてくれる。その知識の高さを買われたエフエムしみずでのトークコーナーも好評。今後はサロンの存在をより広く多くの方に知ってもらいたいと話す。

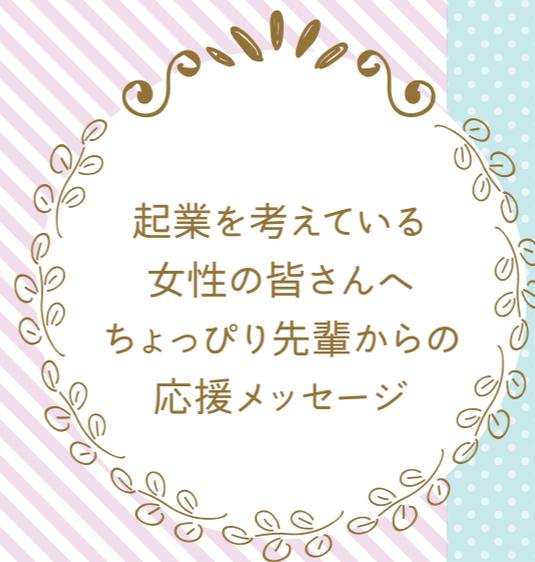
彼女のルール

お客様が求める距離感をくみ取りながら、心に寄り添うことを大切にします。



INFORMATION

Caricia Neo (カリーシアネオ)
TEL 090-9024-7380 沼津市大岡211-3
営業時間・定休日 レッスンによる
E-mail caricia.aroma@gmail.com
URL <https://ameblo.jp/ann-kids-love/>
事業内容/40歳からのカラダづくりサロン



起業を考えている
女性の皆さんへ
ちょっぴり先輩からの
応援メッセージ

露木 さき代さん

やれない理由を考えて悩んでいるよりも、やってみなくてはわからない事がたくさんあります。私の場合、仕事、子育て、年齢などのタイミングがびたりと合い、家庭料理の店を始める事ができました。新しい挑戦をする時には不安があっても当然だと思いますが、1度しかない人生なので楽しいと思える日々を過ごしていきたいですね。

杉浦 希未子さん

起業する前も後も周囲からの叱咤激励があり、悩んだり落ち込んだりするかもしれませんが、それでも信念を強くもつことが大切だと思います。『起業』という壁を乗り越えても、次は『経営』の壁があります。それらひとつひとつをクリアしていくことで自分自身の成長を感じられると思います。起業は自分を成長させてくれるまたとないチャンスです。

川口 清美さん

まずは理念を掲げ、なぜこの仕事をしていきたいのか? 思いを忘れないこと、そして、しっかりと目標、計画を立てクリアしていく事が大切です。嬉しい時は感謝をし、辛い時は成長の時ととらえて堪える。自分に自信をもち楽しんでお仕事してくださいね。あなたなら、きっと出来る!

窪田 真菜さん

全てが初めてだらけの起業は毎日が試行錯誤の日々。孤独で辛いことも沢山ありますし、迷うことや落ち込むこともしばしば。けれどそれ以上に、起業していなければ味わうことのない体験や経験、人との出会いがあります。そして毎日が学びです。まずは自分が本当にやりたいこと、目標は何かを明確にすることが大切だと思います。全ては自分次第! 楽しみましょう!

狩野 順子さん

わたしは、起業を勢いでスタートしました。様々な情報や同じ職種の方も多し中、自身が揺らがない進むのは「想い」をどれだけ強くもち「誰の為に、何の為に」なのかを明確にする事が大切だと学びました。実現すると覚悟を決めたら悩まず進む! そうすると応援してくれているご家族や仲間も安心し、皆が幸せになれると信じてます。